

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 20日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 大阪府大阪市中央区神崎町4番12号

氏 名 味覚糖株式会社
代表取締役 山田泰正

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6767-6000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	味覚糖株式会社 奈良工場
事業場の所在地	奈良県 大和郡山市 今国府町137-5
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	製造品等出荷額等：33,400百万円
③ 従業員数	社員：140人、パート：247人、派遣社員：141人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	有機汚泥→中間処理業者に委託し焼却し、焼却灰として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 動植物性残渣→再生利用業者に委託し、たい肥として再資源化。 →中間処理業者に委託し焼却し、焼却灰として再資源化。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

奈良工場長(廃棄物処分統括責任者)

↓

インフラライン長(廃棄物管理ライン長)

↓

現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	排出量	17.14 t	422.46 t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	排出量	1085.9 t	- t
	(これまでに実施した取組) 各部署、工程で発生量を抑えるよう、個別に管理している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	排出量	16.28 t	401.33 t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	排出量	1031.6 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 工程の改善による産業廃棄物の減少。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、混合物は、有償物を分別し、それぞれ個別に管理。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、混合物は、有償物を分別し、それぞれ個別に管理。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	- t
	(これまでに実施した取組)		
実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定なし			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
実施していない			
【目標】			

②計画	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	全処理委託量	17.14 t	422.46 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	422.46 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	17.14 t	0 t

①現状	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	全処理委託量	1085.9 t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	171.58 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	914.32 t	- t
	(これまでに実施した取組)		
再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量を削減する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1. 有機物汚泥	2. 混合物
	全処理委託量	16.28 t	401.33 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	401.33 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.28 t	0 t
	産業廃棄物の種類	3. 動植物性残渣	-
	全処理委託量	1031.6 t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	163 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	868.6 t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
	<p>優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。</p>		
※事務処理欄			